

教育現場におけるものづくりニーズ

1 / 9 (金) 15:00 17:00

会場：日立地区産業支援センター

受講料：無料

受講申込：別紙により FAX で産業支援センターへ

(財)日立地区産業支援センターでは、茨城大学及び茨城高専の技術シーズと地域中小企業の開発ニーズをマッチングさせ、これまでに「擬似ホタル及び1/1ゆらぎ応用研究会」「レジオネラ菌の殺菌及び検出研究会」「DNAチップの金型製作及び成形研究会」を組織化し、活動を進めています。

15年度は新しい分野における開発の試みとして、学習教材の事業化の可能性を探ることにしました。そこで、今回は教育現場のものづくりニーズに詳しい茨城大学教育学部の5人の先生方に御出席いただき、パネルディスカッションを開催します。是非ご参加ください。

プログラム

各先生から10分程度講演をしていただき、その後座長を中心に学習教材事業化の可能性についてディスカッションします。

座長：茨城大学教育学部 理科教育 利安 義雄 教授

プラスチック素材を利用した教材開発

講師：利安 義雄 氏（茨城大学教育学部 理科教育 教授）

最近では身の回りの素材として、プラスチックが大きな存在になっている。安価な上に、加工の利便性などから、新しい教具の素材といえる。分子・結晶模型を中心に紹介する。

子どもの空間認知を促進する教材の開発

講師：大辻 永 氏（茨城大学教育学部 理科教育 助教授）

茨城県市町村パズル、組み立て天球模型など、完成品ではなく、関わりの持てるもの、その中で認識が深められるものについて話題提供したい。

ものづくり教育の教材教具

講師：竹野 英敏 氏（茨城大学教育学部 技術教育 助教授）

ものづくりのおもしろさを教えるために求められている教材教具について

技術教育教材としての模型工作

講師：安田 健一 氏（茨城大学教育学部 技術教育 教授）

子供たちに作る喜びをわかってもらうには、完成して実際に動く姿を見た時の感動を味わせることが一番と考える。この意味で動く模型（鉄道模型など）の教材化への道を探る。

超高齢社会における医学・保健・福祉の教育と技術、および地域・組織でのメンタルヘルスの重要性

講師：秋坂 真史 氏（茨城大学教育学部 教育保健 教授）

1月9日開催

「学習教材開発に向けたパネルディスカッション」受講申込書

(財)日立地区産業支援センター行き FAX 0294 - 25 - 6125

平成15年 月 日

事業所名 _____

所在地 _____

電話番号 () _____

FAX番号 () _____

所 属	氏 名	備 考